

事業名	佐野市スポーツ推進委員協議会活動支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市スポーツ推進基本計画 佐野市スポーツ推進委員規則	事業期間	開始年度	H18	実施方法
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツ推進委員協議会に交付金を交付し、協議会が自主的に事業を企画運営するための活動資金を支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ推進委員が活動するにあたり協議会を設置することにより、その活動が円滑に進められることを目的として支援する。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
スポーツ推進委員	人	30	30	30	30	30
協力事業数	回	2	4	7	7	7

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	総会、定例会の開催 市民ハイキングの実施（自主事業） ニュースポーツの推進（サイカツボール） 市主催事業（スポーツ関係）等への協力
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
定例会	回	11	11	11
自主事業数	回	1	1	1
事業費計	千円	650	1,250	1,250
一般財源	千円	650	1,250	1,250
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	月1回の定例会開催により、情報の共有化が図られ、市民一人1スポーツの推進が図られる。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
スポーツ推進委員	人	26	26	25	値が大きいほど良い	効果が下がった
協力事業数	回	1	1	7	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数0指標				
	効果が下がった指標数1指標				
	指標全体	効果は変わらない	費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

協力事業等において、委員により参加率が異なることから、積極的な参加を促す必要ある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☒ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	スポーツ推進委員一人一人の更なる主体的な取組が必要。

事業名	佐野市スポーツ推進委員設置事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H18	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	審議会等運営事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
				佐野市スポーツ推進委員設置事業					
				スポーツ基本法 佐野市スポーツ推進委員規則					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市民の生涯スポーツ・レクリエーションの普及に寄与するため、スポーツ推進委員を設置する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進のため、非常勤特別職としてスポーツ推進委員を委嘱し、スポーツの振興を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		週に1回以上運動している割合	%	50.0	43.0	46.0	48.0	50.0

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	県主催の実技指導・研修会に参加した委員への報酬支払	活動指標	単位	R3	R4	R5
		スポーツ推進委員	人	26	26	25
		事業費計	千円	243	426	380
		一般財源	千円	243	426	380
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	スポーツ推進委員の資質向上は、スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		週に1回以上運動している割合	%	42.4	39.2	41.4	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新たなスポーツ推進推進委員の確保が検討課題である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	佐野市スポーツ推進審議会運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツツーリズム係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	スポーツ基本法		開始年度	H16	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市スポーツ推進審議会		終了年度		事業分類	審議会等運営事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	条例及び同条例施行規則					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市スポーツ推進基本計画の策定をはじめ、スポーツ行政の推進に関する事項を調査審議するスポーツ推進審議会の運営 ※スポーツ推進審議会は15名以内の委員（令和5年度末時点13名）で組織
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ推進審議会にて、スポーツ行政の課題等を審議し、スポーツ推進の取組改善を図る。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
審議し改善した取組	%			100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	第1回会議 日時：令和5年11月13日（月） 議事：スポーツボランティアの活用について
	第2回会議 日時：令和6年3月25日（月） 議事：さのマラソンについて 令和6年度スポーツ行政に関する事業計画及び予算について

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
会議開催	回	3	1	2
事業費計	千円	172	81	138
一般財源	千円	172	81	138
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	スポーツボランティア制度ついて、ボランティア募集等の各種広報、活動の場の提示方法など改善に向けた意見をいただいたが検討にとどまってしまった。 さのマラソンについて、審議会意見によりR6さのマラソンにて、ハーフマラソンを実施する方針とした。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
審議し改善した取組	%			50	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標	
	効果は変わらない指標数 0指標	
	効果が下がった指標数 0指標	
	指標全体	効果が上がった

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

事業名	市民駅伝競走大会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツ協会各支部対抗（１９支部を１４支部に再編）による市民駅伝大会開催を支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ協会各支部の小学生から壮年まで幅広い年齢層で結成されたチームで競う駅伝競走大会を実施し、地域の親睦を深め、絆を強めるとともに明るく住みよい地域社会づくりに目的とする。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
参加チーム数	チーム	14	14	14	7	8

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	第19回佐野市市民駅伝競走大会 開催日 令和5年11月12日（日） コース 旧50号～東西産業道路周回コース（2周） 19.5km 区間 9区間 参加チームが開催要件（10支部未満）に満たなかったため、中止
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
	人	0	-	-
事業費計	千円	0	500	500
一般財源	千円		500	500
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支部によるチーム編成は、地域の親睦を深めると共にスポーツ振興に繋がる。
------------------	-------------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
参加チーム数	チーム	0	4	8	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※１０万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数 0指標				
	効果が下がった指標数 0指標				
	指標全体 効果が上がった		費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した
			○		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

各支部において選手の確保が難しい状況であり、参加チーム数の関係で大会を開催できていないことから、要項やコース設定等検討が必要である。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 大会が開催できるよう、要項やコース等を検討する必要がある。
---	---

事業名	市民体育祭開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課		市民体育祭開催事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	イベント等開催事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツ協会 19 支部を 14 チームに再編し支部対抗戦で各競技を開催する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	「市民一人1スポーツ」の推進と、スポーツを通じて健康維持・増進を図る。
-------------------------	-------------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	総合競技（雨天中止）、球技等に区分し、野球、バレーボール等 16 種目で市民体育祭を開催した。
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
競技種目数	種目	0	0	16
事業費計	千円	450	617	1,886
一般財源	千円	450	617	663
特定財源（国・県・他）	千円			1,223
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支部単位による編制となっていることから、市民間の交流が図られると供に市民一人1スポーツの推進に繋がる。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
週に1回以上運動している割合	%	42	39	41	値が大きいくらい良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標	
	効果は変わらない指標数 0指標	
	効果が下がった指標数 0指標	
	指標全体	効果が上がった

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

競技によっては、参加出来ない支部もあり、要項等の検討が必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明	
☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	各関係団体等と参加方法等の検討が必要である。

事業名	生涯スポーツ指導者育成事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業期間	開始年度	S 58	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	人材育成事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					
			根拠法令、条例等	佐野市スポーツ指導者育成事業補助金交付要綱				

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	スポーツ指導者を対象にした講習会の実施、及び競技別指導者指導員資格取得費用の一部に対し補助金を交付する。
------	--

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ指導者を対象にスポーツに関する理論や実技についての研修を行い、指導者としての資質向上を図る。
-------------------------	--

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市スポーツ指導者登録数	人	15	30	40	50	60

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	部活動顧問、及びスポーツ推進員を対象に講習会を実施。 競技別指導者指導員資格取得費用の一部に対し補助。 交付件数 ６件
--------------------------	---

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
講習会開催数	回	3	3	2
事業費計	千円	60	138	138
一般財源	千円	60	138	138
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	スポーツ指導者の資質向上及び確保はスポーツの振興に寄与する。
------------------	--------------------------------

（４）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
市スポーツ指導者登録数	人	134	97	111	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ １０万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標	
	効果は変わらない指標数 0指標	
	効果が下がった指標数 0指標	
	指標全体	効果が上がった

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○	
費用の増減無し		
費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

他事業と連携し、スポーツ指導者の登録制度の検討が必要である。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☒ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
指導者確保のためにも、スポーツ指導者育成事業補助金の充実が必要である。

事業名	全国スポーツ推進委員協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		全国スポーツ推進委員協議会参画事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業 期間	開始年度	H18	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
				スポーツ基本法					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	全国スポーツ推進委員研究協議会に参加し、他自治体のスポーツ推進委員と情報交換・交流・研修を図る。
------	--

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ推進委員が全国スポーツ推進委員協議会に参画することにより、全国のスポーツ推進委員との情報の共有と交流・研修を図ることを目的としている。
-------------------------	--

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
スポーツ推進委員	人	30	30	30	30	30

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	全国スポーツ推進委員研究協議会 青森大会 に参画する。
--------------------------	-----------------------------

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
全国協議会参加者数	人	0	2	2
事業費計	千円	0	44	45
一般財源	千円		44	45
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	全国のスポーツ推進委員と交流・意見交換をすることは、推進委員の事業展開を図る上で優良である。
------------------	--

（４）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
スポーツ推進委員	人	26	26	25	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数				
	効果が下がった指標数				
	指標全体	効果が下がった			

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			○
	費用が増加した			

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

事業名	全国大会等出場者支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	S 58	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	現金等給付事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	全国大会規模以上のスポーツ大会に出場する選手、監督等を激励するとともに、祝金を交付する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	全国大会規模以上のスポーツ大会に出場する選手、監督等を激励するとともに、本市のスポーツ振興の推進を図る。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
全国大会出場件数	件	165	120	130	140	165

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	全国大会等出場祝金交付件数 全国大会307件 アジア・世界大会3件
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
祝金交付件数	件	171	294	310
事業費計	千円	1,490	3,320	2,870
一般財源	千円	1,490	3,320	2,870
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	全国レベル以上で活躍する選手を激励するで、さらなる飛躍の動機付けとなり、また、周囲に良い影響を与えることからスポーツ振興に繋がる。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
全国大会出場件数	件	171	294	355	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数1指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数0指標
	指標全体効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった	○	
	費用の増減無し		
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

申請漏れのないよう、さらなる制度の周知が必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の実取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	総合型地域スポーツクラブ設立活動支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		競技スポーツ強化事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市スポーツ推進基本計画	事業	開始年度	H28	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市スポーツ強化事業補助金	期間	終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	交付要領					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	総合型地域スポーツクラブの設立・運営等を支援する。
------	---------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	総合型地域スポーツクラブの設立・運営等を支援し、市民のスポーツができる場の確保を図る。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
認証総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	-	6	6	6	6

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・スポーツ施設の優先貸出及び使用料の減免 ・安足地区総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に参画 ・S C フェスタの開催（10月） モルック等の体験会
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
認証総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	-	2	2
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	総合型地域スポーツクラブの設立・運営等を支援することは、市民のスポーツができる場の確保に繋がり、市民一人1スポーツの推進が図られる。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
認証総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	-	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数1指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数0指標		費用の増減無し		
	指標全体	効果は変わらない	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

未認証の総合型地域スポーツクラブに認証の働きかけを行う。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	町会運動会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課		町会運動会開催支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	町会が開催する運動会に対し、奨励金を交付する。
------	-------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	町会が開催する運動会に対し、奨励金を交付することにより、市民一人1スポーツの推進を図り、もって市民の健康維持・増進と、明るいまちづくりに寄与することを目的とする。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	27町会に対して奨励金を交付を行った。
--------------------------	---------------------

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
奨励金交付町会数	町会	3	6	27
事業費計	千円	60	110	300
一般財源	千円	60	110	300
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	町会による運動会開催は、地域の親睦が図られると供に市民一人1スポーツの推進に繋がる。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
週に1回以上運動している割合	%	42	39	41	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	
	効果は変わらない指標数	
	効果が下がった指標数	
	指標全体	効果が上がった

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

未実施の町会が多くあることから市スポーツ協会と連携した取組が必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	未実施の町会に対する検討が必要。

事業名	栃木県スポーツ推進委員協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	スポーツ基本法	事業期間	開始年度	H18	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	参画事業	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	栃木県スポーツ推進委員協議会に参加し、他自治体のスポーツ推進委員と情報交換・交流・研修を図る。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ推進委員が栃木県スポーツ推進委員協議会に参画することにより、県内のスポーツ推進委員との情報の共有と交流・研修を図ることを目的としている。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
スポーツ推進委員	人	30	30	30	30	30

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	栃木県スポーツ推進委員協議会 に参画する。
--------------------------	-----------------------

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
県協議会参加数	回	2	5	8
事業費計	千円	52	52	50
一般財源	千円	52	52	50
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	県内のスポーツ推進委員と交流・意見交換をすることは、推進委員の事業展開を図る上で優良である。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
スポーツ推進委員	人	26	26	25	値が大きいくらい良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数0指標 効果は変わらない指標数0指標 効果が下がった指標数1指標 指標全体効果が下がった		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
			費用は下がった		
			費用の増減無し		
			費用が増加した		○

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	ウォークラリー大会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	ウォークラリー大会交付金交付要領		開始年度	H4	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	幅広い層の市民が気軽に参加できるウォークラリーコース大会開催を支援する。
------	--------------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	幅広い層の市民が気軽に参加できるウォークラリーコースを設定し、開催することにより、レクリエーションの普及、仲間づくり及び体力づくりを目的とする。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
参加者数	人	0	300	300	300	300

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	第19回佐野ウォークラリー大会 開催日 令和5年6月4日（日） 会場 田沼小学校周辺
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
コース数	コース	2	2	2
事業費計	千円	0	70	70
一般財源	千円		70	70
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	ウォークラリー大会に参加することは、スポーツ・レクリエーションに親しみ、市民一人1スポーツの推進に繋がる。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
参加者数	人	0	253	252	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数				
	効果が下がった指標数				
	指標全体	効果が下がった			

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			○
	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

ウォークラリーの性質上、1コースあたりの参加組数に制限があり参加数が限られる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☒ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	事務の効率化の検討が必要である。

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	スポーツカレンダー作成事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課		スポーツカレンダー作成事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	S60	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	啓発事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・年間のスポーツ・レクリエーション大会の日程・会場等を掲載したスポーツカレンダーを作成し、市ホームページにて公開、体育施設・公民館にて配布し、市民への周知を図る。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツに関する情報を広く市民に周知を図る	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		スポーツ等に親しんでいる市民の割合	%	50	43	46	48	50

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・施設利用に関する日程調整会議（1月）、町内印刷によりカレンダー作成（3月）、市ホームページにて公開、体育施設・公民館にて配布（4月）	活動指標	単位	R3	R4	R5
		カレンダー作成数	枚	3,000	3,000	3,000
		ホームページに公開	回	1	1	1
		事業費計	千円	4	3	5
		一般財源	千円	4	3	5
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	週に1回以上スポーツに親しむ	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		スポーツ等に親しんでいる市民の割合	%	42.4	39.2	41.4	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の改修等により使用できない施設が発生するため、日程調整や周知を行う必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	スポーツ協会運営支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	S 17	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市スポーツ協会が行うスポーツ普及、振興活動及び運営を支援する。
------	-----------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ協会が主催する大会や事業の運営費を補助することにより、各支部や競技団体のスポーツの振興を図り、市民一人1スポーツの推進と市民の健康や体力の維持、増進及び競技力の向上を図ることを目的とする。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
各支部・専門部の事業数	事業	30	30	30	30	30

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 交付金関係事務、各種共催事業開催のための事務 (団体の活動) 総会、常任理事会の開催 各競技団体等の指導・育成 主催・主幹事業 19支部、21専門部
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
登録支部数	支部	19	19	19
登録競技団体数	団体	21	21	21
事業費計	千円	6,120	7,650	7,650
一般財源	千円	6,120	7,650	7,650
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	スポーツ協会を支援することは、市民の体位向上並びに各競技団体等の強化に繋がり、スポーツ振興が図られる。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
各支部・専門部の事業数	事業	12	52	54	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数1指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数0指標
	指標全体効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	スポーツ教室開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課		スポーツ教室開催事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	事業科目	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	S 56	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	イベント等開催事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市スポーツ協会専門部や総合型地域スポーツクラブ等の各種団体に講師を依頼し、スポーツ教室を開催する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ教室を開催し、市民一人 1 スポーツ・レクリエーションを行うための機会を充実させる。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
スポーツ教室参加者数	人	383	420	440	460	480

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	1 3 種目 1 9 教室のスポーツ教室を開催した。
--------------------------	----------------------------

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
教室数	教室	13	18	19
事業費計	千円	727	929	1,077
一般財源	千円	473	289	384
特定財源（国・県・他）	千円	254	640	693
（うち受益者負担）	千円	254	640	693

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	スポーツを行うきっかけとなり、市民一人 1 スポーツの推進に繋がっている。
------------------	---------------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
スポーツ教室参加者数	人	322	557	598	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標	
	効果は変わらない指標数 0指標	
	効果が下がった指標数 0指標	
	指標全体 効果が上がった	

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

スポーツ教室の指導は、スポーツ協会各専門部及び総合型スポーツクラブが担っており、各教室の回数を考慮すると事業費を充実する必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☒ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
講師謝礼等検討する必要がある。

事業名	スポーツ少年団支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業期間	開始年度	H19	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					
			根拠法令、条例等	佐野市スポーツ少年団本部運営費補助金交付要領				

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツ少年団本部が行うスポーツ普及、振興活動及び運営を支援する。
------	-----------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ少年団本部を支援することにより、青少年のスポーツ活動の普及と振興を図ることを目的とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		登録団員数	人	550	550	550	550	550

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 交付金関係事務、各種研修会を支援する。 (団体の活動) 総会、資格取得講習会 競技別交流大会 体験会	活動指標	単位	R3	R4	R5
		登録団体数	団体	30	26	26
		事業費計	千円	300	300	350
		一般財源	千円	300	300	350
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	加盟団体による体験会も開催しており、団員相互の交流のみならずスポーツするきっかけを創出することは、市民一人1スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		登録団員数	人	572	535	696	面が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した		
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事業なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	レクリエーション協会支援事	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					
			根拠法令、条例等	佐野市レクリエーション協会運営費補助金交付要領				

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市レクリエーション協会の活動支援及び運営費を補助する。
------	-------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市レクリエーション協会の運営費を補助し、その活動を支援することにより、レクリエーションの普及・発展と、明るく豊かなまちづくりをめざすことを目的とする。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 交付金関係事務 (団体の活動) 総会、役員会の開催 加盟団体の指導・育成 自主事業の実施
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
登録団体数	団体	20	20	15
事業費計	千円	250	485	585
一般財源	千円	250	485	585
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	レクリエーションに親しむ機会を提供することは、運動をする習慣を付けるきっかけとなり、市民一人1スポーツの推進に繋がる。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
週に1回以上運動している割合	%	42	39	41	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数0指標				
	効果が下がった指標数0指標				
	指標全体	効果が上がった	費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した
				○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事業なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

事業名	レクリエーション大会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市レクリエーション大会運営費交付金交付要領	事業期間	開始年度	H17	実施方法
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市民レクリエーションフェスティバルの開催を支援する。
------	------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民一人ひとりの体力増強と、健康で文化的な生活に資することを目的として大会を開催する。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	第19回佐野市民レクリエーションフェスティバル 開催日 令和6年3月10日（日） 会場 佐野市運動公園各施設 他 内容 マスターズスポーツフェスティバル ソフトバレーボール 他 小学生ドッジボール大会 レク団体PR兼レクゲーム体験コーナー スカイクロス 他
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
参加者数	人	-	1,000	300
事業費計	千円	0	200	200
一般財源	千円		200	200
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	広く市民各層の参加を得、レクリエーション、体力づくり実践活動を展開し、市民の体力増強と健康で活力に満ちた市民生活の向上に寄与する。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
週に1回以上運動している割合	%	42	39	41	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	
	効果は変わらない指標数	
	効果が下がった指標数	
	指標全体	効果が上がった

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

実施団体の高齢化等

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	関東スポーツ推進委員研究会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	スポーツ基本法	事業期間	開始年度	H18	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	参画事業	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	関東スポーツ推進委員研究会に参加し、他自治体のスポーツ推進委員と情報交換・交流・研修を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ推進委員が関東スポーツ推進委員協議会に参画することにより、関東のスポーツ推進委員との情報の共有と交流・研修を図ることを目的としている。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
スポーツ推進委員	人	30	30	30	30	30

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	関東スポーツ推進委員研究大会 群馬大会 に参画する。
--------------------------	----------------------------

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
関東協議会参加者数	人	0	0	6
事業費計	千円	0	0	24
一般財源	千円			24
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	関東地方のスポーツ推進委員と交流・意見交換をすることは、推進委員の事業展開を図る上で優良である。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
スポーツ推進委員	人	26	26	25	面が大きいくらい良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	1指標		費用の増減無し		
	指標全体	効果が下がった		費用が増加した		○

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	県南五市対抗親善駅伝競走大会開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業 期間	開始年度	S 24	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	県南五市対抗親善駅伝競技大会に参画する。
------	----------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市、足利市、小山市、真岡市、栃木市の 5 市及び教育委員会、スポーツ協会の主催による親善を目的として駅伝競走大会を開催する。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
本市参加者数	チーム	30	30	30	30	30

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	第74回県南五市親善駅伝競走大会 選手等の健康や安全の確保が困難であることや例年のコースが使用できないため開催中止となった。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		参加チーム数	チーム	0	0	0
		事業費計	千円	0	0	0
		一般財源	千円			
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	県南五市の親善及びスポーツ推進が図らる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		本市参加者数	チーム	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

第 7 4 回大会をもって事業廃止となった。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	第 7 4 回大会をもって事業廃止となった。

事業名	県南五市対抗親善総合競技大会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課				県南五市対抗親善総合競技大会参画事業	款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係					項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業 期間	開始年度	S24	実施方法	直営	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	県南五市対抗親善総合競技大会に参画する。
------	----------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	小山市、真岡市、栃木市、足利市、佐野市の5市及び教育委員会、スポーツ協会の主催による親善を目的として総合競技大会を開催する。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
本市参加者数	人	0	200	200	200	200

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	第77回県南五市対抗親善総合競技大会 開催日 令和5年6月25日（日）、7月2日（日） 会場 佐野市内スポーツ施設 競技種目 野球、陸上等 17種目20競技
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
競技種目	種目	0	16	17
事業費計	千円	0	403	644
一般財源	千円		403	561
特定財源（国・県・他）	千円			83
（うち受益者負担）	千円			83

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	多種目で行われる大会であり、市民一人1スポーツの推進に繋がる。
------------------	---------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
本市参加者数	人	0	217	322	値が大きいくらい良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数1指標 効果は変わらない指標数0指標 効果が下がった指標数0指標 指標全体効果が上がった		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
			費用は下がった		
			費用の増減無し		
			費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

同時期に他大会も開催されるなど、各競技団体による選手選考が課題となっている。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	県南四市対抗親善スキー大会開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業 期間	開始年度	S 33	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	県南四市対抗親善スキー大会に参画する。
------	---------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	足利市、小山市、栃木市、佐野市の4市及び教育委員会、スポーツ協会主催による親善を目的としてスキー大会を開催する。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
本市参加者数	人	24	24	24	24	24

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	第71回県南四市対抗親善スキー大会 開催日 令和6年2月18日（日） 会場 エーデルワイススキーリゾート 種目 大回転
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
大会参加者数	人	-	-	72
事業費計	千円	0	0	78
一般財源	千円			78
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	県南四市の親善及び市民一人1スポーツの推進が図らる。
------------------	----------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
本市参加者数	人	-	-	21	値が大きいほど良い	#VALUE!

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		費用は下がった		
	効果が下がった指標数		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果は変わらない	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市外での開催となるため、参加者負担金が増加傾向である

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

事業名	県民スポーツ大会参加事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課		県民スポーツ大会参加事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	S 59	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	県民スポーツ大会に参画する。
------	----------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	「県民ひとり1 スポーツの推進」をスローガンとして、広く県民の間にスポーツを振興し、生涯にわたり健康や体力の保持増進を図るとともに、連帯感あふれた地域づくりに寄与する。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
本市代表選手数	人	336	336	336	336	336

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	栃木県民スポーツ大会 開催日 令和5年10月15日（日）、10月22日（日） 会場 栃木県総合運動公園 他 種目 対抗競技 陸上競技、軟式野球等 1 8 競技 オープン競技 ホッケー等 6 競技
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
開催協議数	競技	-	-	24
事業費計	千円	0	0	197
一般財源	千円			197
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	多種目で行われる大会であり、市民一人1 スポーツの推進に繋がる。
------------------	----------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
本市代表選手数	人	-	-	229	値が大きいほど良い	#VALUE!

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標	
	効果は変わらない指標数 0指標	
	効果が下がった指標数 0指標	
	指標全体	効果は変わらない

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	佐野市スポーツ賞表彰事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課		佐野市スポーツ賞表彰事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H26	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	イベント等開催事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツ振興に著しく貢献された者に表彰を行う。
------	-------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ立市推進計画に基づき、生涯スポーツのみならず、競技力の底上げを図ることを目的とする。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
全国大会出場件数	件	165	120	130	140	165

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	スポーツ賞 個人 3人 団体 0件 スポーツ特別賞 個人 3人 団体 1件 ジュニアスポーツ賞 小学生 69人 中学生62人 合計131人 表彰した。
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
スポーツ賞・特別賞授与団体	団体	0	1	1
スポーツ賞・特別賞授与個人	人	1	9	6
ジュニアスポーツ賞授与者	人	84	78	131
事業費計	千円	174	245	422
一般財源	千円	174	245	422
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	活躍した選手を表彰することは、各選手の励みになると考える。
------------------	-------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
全国大会出場件数	件	171	294	355	面が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標	
	効果は変わらない指標数 0指標	
	効果が下がった指標数 0指標	
	指標全体	効果が上がった

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

受賞対象者の調査において市内学校等の協力を得ており、調査方法の検討が必要。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☒ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	受賞対象者の調査方法を再検討する。